

教材名	かみかみグッズ		紹介者	上地小学校
			<p>学級に 1 年生の A 児がいる。A 児には自閉傾向があり、髪の毛を口に入れて噛んだり、脚のかさぶたをはがして血を吸ったり、鉛筆をかじったりして、常に何かを口に入れておきたい欲求があった。そばに何もないと、服の襟やそでを口にいれてかじっていた。そのせいで、どの服も襟とそでがぼろぼろになり、なかには穴があいて着られなくなってしまう物もあった。</p> <p>服や鉛筆に代わるものはないかとネットで調べてみると、3000円ほどのグッズが見つかった。しかし、よく噛むものには A 児なりのこだわりがあり、3000円の商品を買って、A 児の好みに合わないのは困るので、100円ショップでいろいろな物を買って試してみることにした。</p> <p>タオル、ハンカチ、ゴム状の鎖の 3 つは「手に握ってられる」「かみちぎることができる」「やわらかい」の条件に合わず、首からかけてもすぐに自分からとってしまった。こちらは見た目の問題を気にして迷っていたのだが、A 児にとって見た目は重要でないらしく、最終的にホースが一番気に入った。穴に指を入れて遊べることや、噛みちぎって中の繊維を手にとることができる点も A 児にとって良かったようである。</p> <p>特別支援グッズとして高額なものをたくさん売っているが、100円ショップの商品で手作りできるものが意外と多い。また、その方が児童個々の症状に柔軟に対応できると感じた。</p>	
教材の紹介				
製作・入手方法等	<p>材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短いゴムホース ・ひも <p>※いずれも 100円ショップで購入</p> <p>短く切ったホース（5～6cm）にカッターで穴を開けて、そこにひもを通し、首からぶら下げられる形状にする。</p>			
子どもの反応等			<p>学校にいるときはずっと身につけて、よく噛んでいる。他の物を噛む回数がかなり減った。校外学習に出かける時などは自分から「持っていきたい」と言ったりする。</p> <p>「服を噛むのは良くない」という意識も芽生えた。</p>	